

いけだ

No.115

議会だより

平成29年8月9日発行

大きな声で歌いましょう

(童謡唱歌を歌う会)



6月定例会

- 一般会計補正予算の目玉 P.2~3
- ここが聞きたい(一般質問) P.9~11
- 食育推進特別委員会の設置 P.12
- 議会新体制決まる P.13
- 町民の皆さんに聞く「池田町バラ愛好会」

にぎわいを進める 2億2,738万円を可決

コミュニティ 助成 620万円

【財源】

諸収入 620万円



1丁目(防災倉庫、防災備品 160万円)
半在家(椅子、テレビなど 230万円)
広津(エアテント230万円)

一口メモ コミュニティ助成事業とは…

財団法人自治総合センターで、宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域の公民館備品整美や自主防災活動の充実・強化を図るためのものです。

定住促進 取り組み委託 211万円

【財源】

県地域支援補助金 168万円
町一般財源 43万円



池田工業高校と事業者の連携で地元で働く場所確保の取りくみの番組制作委託

社会福祉費 155万円

【財源】

寄付金 150万円
町一般財源 5万円



保健師各戸訪問用の自動車購入

故・逸見睦子さんから寄付され
現在走行しているへんみ号・むつこ号

営農基盤整備と町の補正予算

6月定例会の主な内容

6月定例会は6月12日から22日まで開かれた。
承認8件、議案は29年度一般会計補正予算など7件、審議の結果可決した。
請願3件、陳情1件を審査し、4件とも採択した。

圃場整備・水路改修

(林中、渋田見、鷺山、十日市場)

1億2,530万円

財源

営農基盤強化補助金	3,058万円
農地耕作改善補助金	7,518万円
一般補助施設整備事業債	1,870万円
町一般財源	84万円



遊休桑園をワイン用ブドウ栽培として再生させる

土地購入

3,500万円

財源

町一般財源 3,500万円



3丁目「わでまちホール」を取り壊し当面駐車場に

プレミアム商品券発行

1,130万円

財源

町一般財源 1,130万円



昨年のプレミアム商品券

5,000部(一般向き2,500部、高齢者、子育て世帯向き2,500部)
使用期間は9月30日から来年3月11日までを予定

本会議の質疑

と答弁

○議案
し尿処理料の値上げについての条例改正

問 広津、陸郷の下水道が整備されていない地域に、接続推進のためのし尿汲み取りの値上げは矛盾しないか。

答 し尿汲み取り量の減や人件費、諸物価の高騰のため、料金を引き上げたい。

問 し尿汲み取りしている世帯数は。

答 およそ110世帯である。

○議案
29年度補正予算案

問 商工会のプレミアム商品券は、定期的に発行か。大型店も対象か。

答 毎年1回発行している。前回の補助があったときも発行した。大型店で使用できるのは、12枚綴りのうち7枚である。

問 教育委員会の定住促進事業とは。

答 池工と企業が連携し、地元で働く場所の確保を進める事業で、県の補助が5分の4出る。

問 社会福祉への寄付金で自動車購入は、電気自動車が良いと思うが。

答 保健師が山間へ行くのに使用するので4駆の自動車が必要である。

問 公用車は電気自動車に切り替えてはどうか。

答 機能が満足できれば町が負担してもその方向で考える。

問 小学校の用務員委託料229万円減額して大丈夫か。

答 用務員をシルバー人材センターに業務委託しているが、今回八口ワークで若い人を臨時

職員として雇う。委託料から臨時職賃金に代わったもの。

問 常備消防経費398万円の増額は何か。また負担割合は。

答 県消防防災ヘリ事故の分担金で、負担割合は、基準財政需要額割による。

要望 松くい虫被害木の倒木で電気柵の修理をするが、ついでに被害木の撤去もお願いしたい。



松かれの状況

予算決算特別委員会

総務福祉関係

◎企画政策課関係について

問 コミュニティの助成金について、どのくらいの申請があつて採択はどうだったのか。町が優先順位を決めて助成団体をお願いするのは。

答 15の自治会及び防災会から申請があり、敗者復活的なものも含め3団体が認められた。優先順位は町では付けてない。

問 油圧ジャッキの配備は。

答 昨年の町総合防災訓練でデモンストラーションを行った際、油圧ジャッキを使用した訓練が紹介され一部の防災会は早速配備したが、他の防災会はこれからである。

問 油圧ジャッキはどういうものか。

答 昨年のデモンストラーションに使用したものと同じく、僅かな隙間に入り持ち上げるジャッキを想定している。



油圧ジャッキ

問 故・逸見睦子さんの寄付による公用車に「へんみ号」「むつこ号」と表記されているが、あまり町民から理解されていないようだが、今度購入する車の表示は分かりやすいものを考えているのか。

答 故・逸見睦子さんの寄付による公用車に「へんみ号」「むつこ号」と表記されているが、あまり町民から理解されていないようだが、今度購入する車の表示は分かりやすいものを考えているのか。



半在家集落センター

答 前回ご寄贈いただいた公用車の「へんみ号」「むつご号」については遺言の執行者である田代さんと協議し、こうした名称にした。今回は決めてないが寄付者の意思を尊重した上で、町民に周知できる表示を考えたい。

問 総合体育館改修工事の違約金収入の経過説明を。

答 法律事務所と相談の上、金融機関と交渉を重ね、最終的に工事費の10分の1を支払ってもらった。

問 3丁目「わでまちホール」の利用方法は。

答 一番の候補は駐車場用地である。まだ具体的ではないが人口増対策としての一部アパート用地である。

◎総務課関係について

問 文書広報費について、多額の委託料とと思うがホームページを改善するのか。

答 町ホームページの「例規集」内の条例等の改正部の修正を行う。

◎健康福祉課について

意見 車両購入は見積もり等を取った上できちんと数字を出して欲しい。

問 障害児支援サービス事業30万円について、何人くらい行くのか。

答 週3回、3月まで1人が対象見込み。

問 大町市のあゆみ園はどのような施設か。

答 特別な係わり合いのある子どもと母親が通う施設。場面ごとの係わりを学ぶところ。作業療法

士や保育士等の専門職から学んだり教えてもらう。

問 池田町にこのような施設は必要と考えるか。

答 子ども子育て推進室

◎その他

としては必要と考える。

問 報告事項の中で物損事故が多数あるが、この理由は。

答 グレーチングの跳ね上がり事故である。跳ね上がらない措置を講じた。



市立大町総合病院に隣接

振興文教関係

◎産業振興課について

問 ハーバルヘルスツーリズムの事業内容は。

答 ハーバルヘルスツーラーの養成講座を開催し、町独自の認定基準を設け、町長が認定する1人でも多くの認定者を育てていきたい。モニターツアーも夏、秋と2回開催する予定である。日本通運保険組合との契約に基づいた具体的メニューを作成し活用してもらうことも考えている。

問 トレーナーの養成目標人数はあるのか。

答 目標は考えていない。1人でも2人でも認定されるよう推進していく

問 認定基準の内容は。

答 ハーブについてひととおりの説明や、ガイドマスターが出来ることなど町独自の基準であり、トレーナーについての専門家にも相談し決めたい。

問 修景と薬香ハーブの事業内容は。

答 修景はハーブガーデン

き決めたい。

問 中学校校門前の松枯被害木が危険な状態である。対応は。

答 氏子と相談し対応する。(後日、14日に相談、打ち合わせをし、26日伐採)

問 プレミアム商品券は20%のプレミアムで5千セットの発行予定と聞か、昨年の実績と今回の内容は。

答 昨年の実績は、回収率99.8%、大型店は33.23%であった。今回は千円券12枚1セットを1万円で購入。使用期間は9月30日から来年3月頃までを予定している。

問 買えない人が多かったと聞く。発売日と販売内容の徹底を図って欲しい。広報、新聞折込、防災無線のお知らせだけでは知らない人が多い。新たな対策が必要である。

答 商工会と相談する。



香り高く咲きほころラベンダー

問 今年大型店ツルヤが開店したが、商品券は使用できるのか。又テナント店はどうか。

答 ツルヤは商工会に入るとのことだが、プレミアム商品券の対象店になるかは今後相談する。テナント店もこれから商工会でも加入を進めていきたいとのことであり、町も同じ考えである。

問 昨年購入のため販売店に並んだが10時半には売切れてしまった。多くの方が購入できるための対策が必要である。

答 ひとり当りの購入枚数を制限するとか、一世帯当りの購入枚数を制限する等広く町民の皆さんに購入していただくのが基本なので、しっかり商工会に申し入れ対応していく。

問 土地改良費に大きな予算付けがされている。ワイン用ぶどう畑の事業について今後の見通しは。

答 県の補助金事業である。この地域営農基盤強化事業は県のパイロット事業で受益者負担がなく平成30年まで続く。町で

対象地があれば地権者、耕作者と相談し積極的に導入していきたい。

要請 岡堰や花見ほたる水路の安全柵が横段なので、子どもが登り危険であるとの声を聞く。縦の仕切り物に出来ないか。

答 国、県の基準に合わせ設計しているが、今後県と相談する。保護者の皆さんにも、子どもに注意するよう促していく。



花見ほたるの水路、横段の安全柵

◎教育委員会関係について

問 定住促進に向けた地域の取組み事業で、池田工業高校のデュアルシステムでの放送番組を製作するとの説明だがいつ頃になるのか。



町ホームページに掲載されている移住定住動画

答 これから契約するが、30分放送で、年明け頃になる予定である。

問 定住者向けにどのよう伝えるのか。

答 対象者は、町内外の人であるが、DVDも作るので、ホームページも含め全国版にしたい。



町事業者から仕事を学ぶ池田工業高校生

問 移住対象を都市圏の人達とするとユーチューブでの公開が大事である。版權の契約も入れておく必要があるか。

答 契約の中で相談したい。

問 会染児童センターは児童が多いためその解消に、会染小学校をどのように利用するのか。

答 体育館や被服室を使用したときの人数の関係で、安心・安全が確保できるか試行している段階である。

問 街中の歴史ある家が取り崩されている。町の文化財保護の考えは。

答 現在文化財保護に指定されているのは30件だが、質問の内容はそれ以外のことと考える。個人の所有物であり、難しい問題であるが、文化財保護委員に相談する。

一口メモ YouTubeってなに？

無料で誰でも利用できる動画共有の代表的なサイト。

問 文化財保護専門員の業務内容は。

答 岡麓（おかふもと）荻原井泉水（おぎわらせいせんすい）等の研究を中心に町の文化財の掘り起こしや、保護委員会の事務局の業務等を考えている。

問 公共施設の夜間管理業務体制の改善はできないか。

答 管理者に指導を強化し、また人材派遣元にも要請する。

“池田ふるさと祭り”
豪雨災害募金協力御礼

去る7月29日に行われた“池田ふるさと祭り”に町議会は、豪雨災害の被災地救援募金活動で参加させていただきました。おかげ様で24,943円の募金が集まり、被災地へ送りました。

皆様の暖かいご協力に感謝し報告させていただきます。



まもりたい蔵のある街並

常任委員会

各常任委員会に託された
議案、請願、陳情を審議
しました。

総務福祉委員会

○議案
土地利用・開発に
関する条例の一部
改正

討論 時代が変わってき
ているので良いことであ
り賛成。

採決 全員の賛成で可決。

○議案
町営バス停設置条
例の一部改正

○議案
土地利用調整基本
計画の変更

○議案
土地利用調整基本
計画の変更

○議案 商工会館前は見通し
が悪く危険、それに比べ
メンタルケアセンターに
ついては西の方が直線で
見通しが良いため。また
ツルヤバス停については
現在は順調である。停留
場所はツルヤ側と協議の
上決めてある。



商工会館前から移動したバス停

採決 全員の賛成で可決。

○議案
し尿汲み取り料値
上げの条例改正

採決 全員の賛成で可決。

○議案
土地利用調整基本
計画の変更

○議案 一つの例としたス
ペースゼロも含め具体的
に中心市街地をどう整備
するか早急に検討すべき
ではないか。

○議案 県道沿いは区画整理
をするのは難しいので、
ツルヤ近辺の市街地に隣
接した農用地を利用した

○議案 街作りを構想として検討
している。

○議案 県道を広げることも
考えなくては。

○議案 そのことには大変な
労力があるので、まずは
人口増対策をしてから県
道を含めた現在の市街地
の問題に取り掛かれればと
考える。

○議案 何をもって街なかの
活性化を図るのか。

○議案 中核施設への導線も
含めコンパクトシティ化
を進める中で道路のあり
方も検討する。

○議案 全員の賛成で可決。

○議案 町の教育関連予算
も厳しく、国の負担を減

○請願 へき地教育の手当等の支
給率を近隣県並みの水準
に戻すことを求める請願

振興文教委員会

○請願

へき地教育の手当等の支
給率を近隣県並みの水準
に戻すことを求める請願

○請願 へき地学校に若い
先生が赴任するケースが
多く、またベテラン教師
が少ないため学校格差が
生じているので賛成。

○請願 長野県はへき地学
校が多く、先生の過重労
働が問題であり賛成。

○請願 手当てで学校格差
があるというが、もっと
調査する必要があると
審査でよい。

○請願 賛成2人、継続
審査2人と同数であり、
委員長決裁で採択。

○請願 義務教育費の国庫負担金
制度の堅持を求める請願

○請願 子どもの貧困が問
題視されており、教育格
差で将来に希望が持てな
い子どもが多く問題だ。
国が負担して、子ども連
年の教育を充実すべきで賛
成。

○請願 町の教育関連予算
も厳しく、国の負担を減

○請願 国は憲法改正で教
育無料化に取り組むこと
を発表したので主旨採択
でよい。

○請願 賛成2人、主旨
採択2人と同数であり、
委員長決裁で採択。

○陳情

長野県森林づくり県民税
の適正活用及び活用事業
の拡充を求める陳情

○陳情 大北森林組合の不
正事件について、県の取
組み内容が県民に納得で
きない状況にある。県は
森林税の使い方をしっか
り反省し、県民の信頼回
復できるよう事業に取り
組んでもらいたい。

○陳情 全員の賛成で採択。

○陳情 全員の賛成で採択。



池田小学校



審査結果

6月定例会
提出案件

区分	件名	審査結果
承認	税条例の一部を改正する条例の制定について	承認
承認	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	承認
承認	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	承認
承認	平成 28 年度一般会計補正予算について	承認
承認	平成 28 年度国民健康保険特別会計補正予算について	承認
承認	平成 28 年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	承認
承認	平成 28 年度下水道事業特別会計補正予算について	承認
承認	平成 28 年度簡易水道事業特別会計補正予算について	承認
議案	土地利用及び開発指導に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案	町営バス設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案	土地利用調整基本計画の変更について	可決
議案	町道の路線の認定について	可決
議案	平成 29 年度一般会計補正予算について	可決
議案	平成 28 年度池田小学校大規模改修工事第四期請負契約の締結について	可決
請願	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書	採択
請願	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	採択
請願	国の責任による 35 人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書	採択
陳情	長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書の採択について	採択
発議	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書について	可決
発議	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について	可決
発議	国の責任による 35 人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書について	可決
発議	長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書について	可決

ここが聞きたい 議員6名が一般質問



創造館の外部トイレ 改修について

倉科 栄司 議員

【生涯学習課長】

当面は創造館内部のトイレ利用を



創造館の外部トイレ

創造館の外部トイレ改修について

問 創造館の来館者や公園を利用する人にとって創造館の外部トイレは、場所がわかりづらく、数が少ない洋式化されておらず非常に使いづらいとの声が多く聞かれる。創造館の外部トイレの現況をどう把握しているか。

答 外部トイレは東壁面により場所が見えず表示も分かりづらい、数が少ないなどの現況は認識している。

問 外部トイレの改修は検討しているか。

答 内部での研究はしたが、具体的な検討には至っていない。改修となれば抜本的な改修が必要となり、多額の費用がかかる。費用対効果も考慮し検討していきたいが、当面は創造館内のトイレ利用を勧めていきたい。外部トイレの案内標識は傷んでいるので、早急に改修していく。クラフトパークに日陰になる木の植栽を

問 クラフトパークは特に小さなお子さん連れの利用者から、日陰になる場所が少なく利用しづらい。木の植栽などで日陰になる場所を増やして欲しいとの声がある。植栽は検討できないか。

答 クラフトパークの日陰になる場所は、既存の樹木やあすまやがある。また、植栽した枝などが成長し、日陰になる場所は増えてきている。ただ、要望はあるので、芝への影響や景観などに配慮しながら研究したい。

池田八幡神社祭典舞台の観光案内板の設置について

問 八幡神社の祭典は当町の観光資源の一つである。舞台の観光案内板(舞台の写真・製造年や購入年が分かり、舞台に飾る人形などの由来などが分かるもの)を舞台蔵に設置できないか。

答 舞台の紹介文などを記載した看板設置については、形状や規模も含め氏子総代の皆さんと相談したい。

子どもの貧困対策 「食の充実」を

横澤 はま 議員



【町長】 今後も各家庭に応じた支援をしていく

食環境と健康増進について

問 若い世代(16歳から)の食生活の乱れが問題となっている。地域の高校を守り育てる支援活動として給食の提供ができないか。

答 池工全生徒への給食提供への取り組みは難しい。

問 「子ども食堂」について、行政も課題を共有し活動を後押しすべきと考えるか。

答 「子ども食堂」設置の動きがあれば、設置者

の方と相談し課題の共有につとめたい。町内の状況や県内各地域の動向を十分注視していきたい。

池田町食育推進について

問 望ましい生活習慣を身につけるために、全町挙げて「早寝・早起き・バランス朝食」運動を提唱するが。

答 子どもの頃から良い習慣を身につけさせることは大切と考える。「食育推進計画」を進める中で、検討していく。

問 健康長寿を目指す食を通じた「食から始まるまちづくり」施策は。また、アンケート調査結果を全戸に発信できないか。



「ふる里の味」子どもの日「生きる力を育む食文化」

答 生活習慣改善に向けた保健指導・食育講演会・健康相談を行い、ふるさととの料理教室・親子料理教室・広報を活用した野菜紹介・レシピ集の発行・脳血管疾患病予防の講演会等を予定。調査結果は必要な時にそのつど示していきたい。

問 食育推進計画を総合的・計画的に推進するため、(仮称)池田町食育推進条例が必要と考えるか。

答 議員発議と聞いているので資料提供し、食育推進計画に基づいた事業を関連する諸団体と共に進めていくのが行政の役割と考えている。

信州やまほいく認定制度について

問 信州やまほいく認定制度における「信州型自然保育」の導入・実施の進捗状況は。

答 普及型を目指し、申請が8月締め切りとなつているので、受け皿を整え申請事務を進めていきたい。



高校生通学費助成制度の創設に向け検討を

薄井 孝彦 議員

【教育保育課長】

町の定例教育委員会で検討したい

問 県下15自治体では、高校在学保護者の負担軽減を目的に、高校生通学費助成事業を実施している。当町でも助成制度の創設に向け検討を。

答 平成29年の町通学高校生数は209名、通学定期券運賃の総額は年約1500万円を超える額である。保護者への負担は大きいと考える。近隣の状況を参考に町の定例教育委員会で検討したい。

防災対策の推進を

問 消防防災係での町内別の指定避難所（二次避難所）、避難地の見直し状況は。

答 検討中の見直し案は自主防災会議で意見を聞き確定する。確定案は町ホームページに載せる。

問 避難所運営協議会を

年度内に設置できないか。

答 その方向で検討する。

問 防火水槽（マンホール式を除く）の現況をみると、子どもにも危険なところなどが見られた。町の防火体制の整備と併せ、点検と対策を。

答 防火水槽を含め町の防火体制について点検を行い、必要な修繕を行う。

町の大型建築工事に町内業者の受注機会増大を

問 町内業者の受注機会増大を図るため次の施策がとれないか。

答 一括発注ではなく、町内業者が施工できる仕事（電気工事・外構工事など）に分けての分割発注を。②下請け業者の生活などを守る施策として



金網が破れ、子どもが落ちたら危険な防火水槽

最低制限価格（入札価格÷予定価格）の引き上げを。③一般競争入札で総合評価落札方式（入札価格点・その他評価点の合算で最高点業者を落札者とする方式）の導入を。

答 ①分割発注にJV（建設共同企業体）方式を採用すれば、町内業者の参加は可能である。今後導入を検討したい。②この6月1日から最低制限価格を67%から70%に引き上げた。③総合評価落札方式の利点を活かすため、来年度から対象工事をしぼり実施する。



子どもの医療費の窓口無料化を

服部 久子 議員

【住民課長】 18歳までの医療費の窓口無料化を進めたい

統制的な学習指導要領改訂について

問 改訂に国が求める資質が述べられている。個人の自由で国が介入すべきでないと考えるが。

答 「生きる力」の育成で、教育基本法の趣旨を継承していると考える。

問 「教育勅語」を教材で使用可能としたが考えは。

答 歴史的教材として学ぶ意義はあるが、推奨しない。

子どもの医療費窓口無料化の具体化は

問 県は中学校卒業まで医療費窓口無料化の方針だがどうなるのか。

答 県は平成30年8月を目途に中学校卒業まで窓口無料化し、国の減額調整措置は県が半額支援する。

問 町は、18歳まで窓口で無料化にするのか。

答 国の減額調整措置の1/2を町が負担し、18歳までの現物給付方式を検討する。

就学援助入学準備金を小学校入学も3月支給に

問 就学援助の中学入学は、3月支給が実現したが、小学校もできないか。

答 30年度の小学校入学

の3月支給を検討する。

問 支給額は、国の基準額と同じか。

答 4万600円になる。

病児保育の必要性

問 働く女性が増え病児保育の必要性が高まっている。北アルプス連立立園の取り組みが進まない。町が実施できないか。

答 町は自立園の方針に沿うが、あづみ病院にも要望していく。

住民に開かれた公民館使用を

問 昨年の公民館使用取り消しのきっかけになった電話の問い合わせは、「一般人」と議会で回答したが、新聞報道は国会議員の秘書とある。答弁と食い違いが真実は。

答 問い合わせの際名前など聞かないので「一般人」と回答した。

問 集会前日の庁議で「国会議員の秘書」の認識があり、取り消したのではないか。

答 そのような事はない。



北アルプス医療センターあづみ病院



町の農業振興策の 評価と検証は

櫻井 康人 議員

【振興課長】 農家所得向上に向けての事業展開
を行い評価出来るようになる

問 第5次総合計画で、
農業振興分野の評価は。

答 営農組合・担い手への
支援、営農組合の法人化
に向けての取組み、花と
ハーブのブランド化への
取組み等十分評価できる
と考える。また、後期計画
事業の中で、新規就農者
増、農地集積率増と目標
を上回る事業もあり、今
後、総括・検証を行い課題
を洗いだしていく。

問 減反政策が2017
年で終わるが、その後の
町の取組みと結果公表
は。

答 生産調整は米価維持
を考えると必要であり、
県及び大北農業再生協議
会の情報を受け、平成30
年産米の生産調整の情報
は年明けが見込まれる。
問 生産調整廃止後、国
が導入を考えている「収
入保険制度」は、農家の理
解が得られる内容か。

答 対象者を青色申告者
としており、補償内容も総
括すると、収入が減少し
た場合でも10%は自己責
任で、満額補償ではない。
直接支払交付金との比較
では全農家減収となる。
問 町内一農場構想の実
現に向けての取組みは。

答 営農組合を中心とし
た法人化実現後、法人に
新たに参画する農家の皆

広がる減反大豆畑



さんを募ることが今後の
課題である。
**発達障がい児への配慮
と支援を**

問 発達障がい児の現状
と支援体制は。

答 対象児童は小中学校
あわせて60人弱である。
必要な支援として①早期
発見早期支援②個にあっ
た支援③支援内容を増や
す④支援の質を高める⑤
保護者への支援等である。
妊婦から18歳まで、途切
れない取組み支援体制を
とっている。

問 発達障がい児の日常
行動の把握は。

答 家庭からの報告は原
則としてされない。日々
の生活記録、日記から家
庭状況を把握している。
学校でパニックになった時
などは空き教室等でクー
ルダウン出来る場所を確
保している。

問 発達障がいを理解す
るためには。

答 障がいもひとつの個
性と捉え、良いところを見
つけ光らせ、自信をつけさ
せることで、社会性が改
善される。

池田・会染両保育園の 環境格差の解消は

矢口 稔 議員



【教育保育課長】
施設整備の方向性が出るまで不便をおかけする

問 池田保育園と会染保
育園の環境格差が広がっ
ている。新築された池田
保育園は最新の空調設備
が完備されているのに対
し、会染保育園は夏暑く、
冬は極端に寒い。同じ保
育料金を頂いて運営して
いるが、認識と解消方法
は。

答 施設環境の相違は認
識している。小規模で改
善できる部分は速やかに
改善したい。

問 未満見室前の段差、
プールの温度差、雨もり
にあっては、10力所程度

老朽化が進む会染保育園



発生している。限界を超
えているのではないか。

答 施設整備の方向性が
出るまで大変ご迷惑をお
かけする。

**会染保育園改築問題
新たな委員会を設置へ**

問 会染保育園建設検討
委員会が一昨年の答申が
出て以来開催されていな
い。再開の見通しは。

答 答申後の状況が変
わってきている。急激な
少子化や災害時の危険に
配慮した建設、資材高騰
などの影響がある。保育
園・小学校・中学校の一
貫した町の新しい教育の

観点から新たな委員会を
設置したい。秋口に開催
し、年度内に方向性をつ
けたい。

**日帰り入浴施設の誘致
の検討を**

問 日帰り入浴施設は建
設を要望している町民の
方も多い。しかし財政的
に厳しい現状もある。最
近、民間業者の進出希望
の話もあった。民間の力
を借りて入浴施設の誘致
に取り組んでほしいが。

答 まずは可能かどうか
検討したい。場所等につ
いて町民の提案をまと
め、今後具体的に話を進
めていきたい。

**RVパーク 車中泊可
能な場所を選定**

問 道の駅池田において
車中泊をする観光客が増
えている。RVパーク
設置に向けての進捗状況
は。

答 継続して調査、研究
している。なるべくコス
トをかけない方法を検討
している。今年度中には、
車中泊可能な場所を設定
したい。

家庭での食育を中心に、 様々な関係機関が連携して食育を推進します！

食育の推進体制



長野県食育推進計画概要版より

食育推進特別委員会だより

食育推進特別委員会を設置した。

【目的】

食育に関する事項及び食育条例策定に関する研究

町は、「食育推進計画」を策定し、「食から始まるまちづくり・豊かな心と身体を育む」ことを基本理念とし、池田町の食育を推進していく。

議会としても、この食育の取り組みを、総合的・計画的に推進していくことができるよう、条例制定を視野に入れ、家庭の食育を中心に地域、行政機関、学校・保育所、食品関係団体、農業者及び関係団体、ボランティア団体、食品関係団体等、それぞれとの関係機関の役割に応じた食育に関する調査・研究を行う。



池田町議会新体制決まる

5月10日、臨時議会を開催し、議長、副議長、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会などの議会構成を決めました。

5月臨時議会

議長挨拶

那須 博天



五月の組織改正により、再度議長に就任しました。

今、町が取り組んでいる、若者定住、食育推進等に対し、町民のみなさんと共に議会としてより良い、前向きな提言ができる様努めてまいります。

健康、長寿の町づくりに向けて、皆様の期待に応えられる議会となりますことを決意し、挨拶とさせていただきます。

副議長挨拶

矢口 稔



議長を支えるとともに、より議会を身近に感じて頂けるよう一生懸命努力致します。

総務福祉委員会

- 委員長 大出美晴
- 副委員長 横澤はま
- 委員 倉科栄司
- 委員 薄井孝彦
- 委員 立野 泰
- 委員 那須博天

振興文教委員会

- 委員長 桜井康人
- 副委員長 和澤忠志
- 委員 矢口 稔
- 委員 服部久子
- 委員 矢口新平

議会運営委員会

- 委員長 倉科栄司
- 副委員長 服部久子
- 委員 大出美晴
- 委員 桜井康人
- 委員 和澤忠志

予算決算特別委員会

(全議員)

- 委員長 倉科栄司
- 副委員長 服部久子

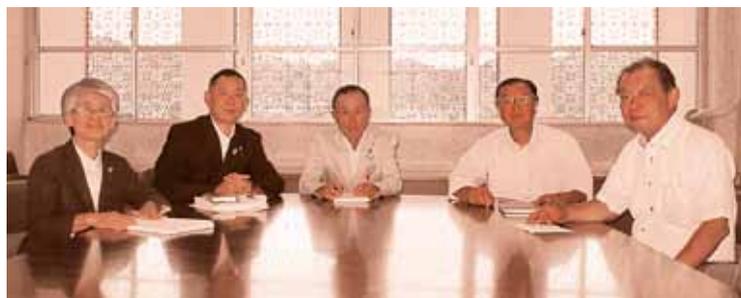
食育推進特別委員会

- 委員長 和澤忠志
- 副委員長 横澤はま
- 委員 倉科栄司
- 委員 薄井孝彦
- 委員 桜井康人
- 委員 立野 泰

監査委員

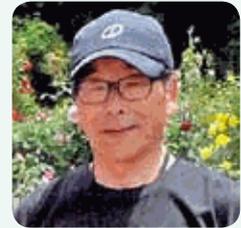
(議会選出)

- 立野 泰



シリーズ 町民の皆さんに聞く

— 第4回 —



池田町バラ愛好会代表

むらはた ひろし 村端 浩 さん (滝沢七五三掛)

略歴・活動内容

- ・昭和21年1月、富山市生まれ(71歳)
- ・高校教諭、進学塾講師を経て平成16年池田町に移住
- ・平成22年に有志10名でバラ愛好会を設立。翌年東山山麓に農地を借りてバラ園を開園、現在1500㎡に180種類250本のバラを植栽。
- ・会員は町内外の有志30名、その他オーナー会員が50名。毎週木曜午前を作業日にしてゆるやかに活動。
- ・6月初旬に、これまで6回のバラ祭りを開催。年間を通して自由に訪問でき、町民に親しまれるバラ園をめざしている。

村端さん連絡先 電話 62-8440



入口付近から見た園内。バラ園をはさんで北アルプスを望む景観は最高

池田町ハーブセンターから見て真東にあたる東山山麓に、こじんまりとしたバラ園がある。会の結成からすでに7年が経過したこのバラ園。遊休農地を利用したとは思えない異空間が山麓に開け、6月から10月頃まで色とりどりのバラを楽しむことができる。

◎この場所にバラ園をつくらうとしたきっかけは？

村端 池田町に「花とハーブ」にふさわしい場所をもっと広げたいということと、みんなで協力して何かをつくる場があればと考えたことがきっかけです。それにバラしかない。バラの

好きな方は大勢いますしね。あわせて、東山山麓には荒れた農地が結構あり、高齢化にもなつて管理が大変になっているわけですから、少しでも耕地維持の手伝いができればと考えたのです。

◎いつもはどんな活動をされているのですか。

村端 毎週木曜日の午前中を作業日に行っています。除草、花ガラ摘みが中心で、木曜日以外にも消毒や水やりをしています。作業が終われば、野外テーブルを囲んでおしゃべりタイム。こっちの方が長くなること

もあります。

◎今年、第6回バラ祭りが行われましたね。ぜひたくさんの方々が訪問されたと聞きました。

村端 町民の方々はもちろん、県内・県外から祭りの



家族連れや若い世代の人たちもたくさん訪れにぎわうバラ祭り

前後をあわせると3千名くらいの方が訪問してくださいました。町長はじめ多くの役場関係の方々にも来ていただくことができました。

イベントを通して少しずつバラ園の良さが伝わっていることを実感します。

◎これからの課題や目標は何ですか。

村端 昨年度から県の長寿社会開発センターの助成金を活用して、高齢者や車椅子利用者にも安心して見てもらえるように通路をつくらせています。手作りの良さにこだわ



て、住民に開かれた憩いの場・安らぎの場となるようにしたいと考えています。会員にはなれないけれどもお手伝いしてもよいとお考えの方も大歓迎です、是非ご一報ください。

議会をたよりモニター

29年度の「議会をたより」モニターは、28年度より1人増えて5人になりました。主婦の方や在学中の学生さんもおられ、率直なご意見をいただいています。頂戴したご意見を生かし、町議会が身近に感じられるよう、わかりやすい紙面を目指していきたいと思

編集後記

議会の新体制が決まり、議会報編集を担当することになりました。アナログ人間が委員長になり自信がありませんが、町民の要望を町に伝え、町の取り組みや議員の活動を解りやすく伝える議会報を目指していきます。よろしくお願

議会報編集特別委員会

委員長 服部 久子
副委員長 横澤 はま
委員 矢口 新平
委員 和澤 忠志
委員 那須 博天